



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小出 孝雄 TEL 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,919	△2.6	257	—	252	—	184	—
2019年12月期第1四半期	2,997	23.7	△162	—	△188	—	△290	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 184百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 △290百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	21.42	21.40
2019年12月期第1四半期	△34.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	4,456	1,565	34.8
2019年12月期	4,833	1,381	28.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,549百万円 2019年12月期 1,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期（累計）	11,000	△5.5	750	—	700	—	500	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	8,596,200株	2019年12月期	8,596,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	230株	2019年12月期	230株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	8,595,970株	2019年12月期 1 Q	8,429,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場規模は、「ファミ通ゲーム白書2019」によると、2017年に1兆580億円(前年比109.1%)、2018年に1兆1,660億円(前年比110.2%)に達し、2019年は1兆2,500億円、2020年は1兆3,000億円と成長を続けていくと予想されております。しかし、中国・韓国系企業のタイトルのシェアは年々増加しており、ゲームメーカーの競争環境は激化しております。そのため、資金調達力などの企業体力に限界のある小・中規模事業者の淘汰が進んでおり、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲームサービス事業を営んでおります。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取りや協業、またはM&Aで仕入れ、国内最大数のゲーム運営で蓄積したノウハウやAI基盤を活用することで、費用を削減しながらも高品質な「スマート運営」が可能となり、長期にわたる利益創出を実現しております。

当社グループは、規模成長を追求するべく、2018年から6か月の再設計期間を経て黒字化を目指す「再設計型」タイトルの獲得を開始し、2019年から仕入ペースを加速させる中で、市場に増加している「再設計型」の買取りを積極的に行ってきました。加えて、新機能開発などで売上伸長を狙う「グロスアップ」や、他メーカーが開発・運営しているタイトルの海外版を当社が開発・運営する「グローバルチャレンジ」を積極的に推し進めてまいりましたが、計画と乖離する結果となり、業績が悪化いたしました。

業績の悪化をうけて、2019年12月期第2四半期決算発表と同時に「転換点リカバリープラン」を発表いたしました。規模成長の追求から持続的利権体質を目指す戦略に転換し、「再設計型」・「グロスアップ」・「グローバルチャレンジ」の取り組みは凍結いたしました。加えて、人員の最適化・全社費用の徹底削減などの構造改革を行った上で、データドリブンによる全タイトルのグロス削減率良化と更なる運営のスマート化の徹底を行いました。

こういった取り組みにより、持続的利権体質への体制構築は完了し、当第1四半期において、営業利益の黒字転換に成功いたしました。黒字転換の要因として、良質な新規タイトルの獲得と不採算タイトルのエンディングによるポートフォリオの改善、タイトル毎のKPI管理・コスト管理手法を刷新したことによる既存タイトルの収益性の向上、構造改革による全社費用の削減が挙げられます。

また、当第1四半期において、1タイトルの仕入と1タイトルのエンディングを行い、2020年3月末時点での運営タイトル数は36となっております。

当社グループは、2020年からの第三創業期と位置づけ、AI/5G時代の進展に合わせた新規事業を今後創出してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,919,508千円(前年同期比2.6%減)、営業利益は257,100千円(前年同期は営業損失162,424千円)、経常利益は252,608千円(前年同期は経常損失188,435千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は184,108千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失290,466千円)となっております。

なお、当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて376,797千円減少し、4,456,449千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比296,832千円の減少)などがあったことによるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて560,905千円減少し、2,890,770千円となりました。これは主に、社債の減少(前連結会計年度末比472,250千円の減少)などがあったことによるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて184,108千円増加し、1,565,678千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加(前連結会計年度末比184,108千円の増加)などがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年3月10日公表の業績予想に関する修正の開示をご覧ください。今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,193,725	1,896,893
売掛金	1,517,825	1,368,598
未収入金	268	786
未収還付法人税等	45,677	45,679
その他	255,227	322,136
流動資産合計	4,012,723	3,634,094
固定資産		
有形固定資産	121,602	93,834
無形固定資産		
のれん	64,295	103,228
その他	72,923	64,924
無形固定資産合計	137,219	168,153
投資その他の資産		
敷金	310,253	309,263
長期前払費用	143,263	120,001
繰延税金資産	45,663	43,583
その他	62,519	87,519
投資その他の資産合計	561,700	560,367
固定資産合計	820,522	822,354
資産合計	4,833,246	4,456,449
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,407	151,806
未払金	292,323	235,049
短期借入金	70,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	944,500	961,000
未払法人税等	27,643	51,163
賞与引当金	-	39,973
事業構造改革引当金	28,581	28,044
その他	234,766	302,055
流動負債合計	1,956,221	1,909,092
固定負債		
長期借入金	150,000	125,000
社債	1,338,750	850,000
資産除去債務	5,193	5,193
繰延税金負債	1,510	1,484
固定負債合計	1,495,454	981,677
負債合計	3,451,675	2,890,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,070,325	3,070,325
資本剰余金	3,050,882	3,050,882
利益剰余金	△4,755,377	△4,571,268
自己株式	△353	△353
株主資本合計	1,365,477	1,549,585
新株予約権	16,093	16,093
純資産合計	1,381,570	1,565,678
負債純資産合計	4,833,246	4,456,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,997,314	2,919,508
売上原価	1,915,802	1,604,866
売上総利益	1,081,512	1,314,642
販売費及び一般管理費	1,243,936	1,057,541
営業利益又は営業損失(△)	△162,424	257,100
営業外収益		
受取利息	14	12
法人税等還付加算金	—	31
消費税差額等	6	0
為替差益	433	—
消耗品売却収入	—	460
その他	140	10
営業外収益合計	595	515
営業外費用		
支払利息	203	1,673
社債利息	3,026	2,905
社債発行費	23,318	—
その他	57	428
営業外費用合計	26,606	5,007
経常利益又は経常損失(△)	△188,435	252,608
特別損失		
減損損失	—	22,266
特別損失合計	—	22,266
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△188,435	230,341
法人税、住民税及び事業税	35,586	44,179
法人税等調整額	66,444	2,053
法人税等合計	102,030	46,233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△290,466	184,108
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△290,466	184,108

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△290,466	184,108
四半期包括利益	△290,466	184,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△290,466	184,108
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(重要な引当金の計上基準)

事業構造改革引当金

事業構造改革に伴い、今後発生が見込まれる費用について合理的な見積額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。